新川むつみ園だより　第139号

むつみ

令和４年1月15日発行
発行　新川むつみ園
　　新川むつみ園家族会
編集　広報委員会
〒939-0633
富山県下新川郡入善町浦山新2208
TEL（0765）78−1131
http://www.mutsumien.com/
新川むつみ園　検索

～明けましておめでとうございます～

寅は十二支の3番目。子年に新しい命が種の中で芽生えはじめ、丑年には種の中で育ち、寅年は春が来て根や茎が生じて成長する時期、草木が伸び始める状態だとされています。
今年も利用者、職員共に「自分なりの成長」を感じられる1年となりますように。

令和4年の初春によせて

理事長　**林　徹**

新川むつみ園だより「むつみ」を愛読の皆様、新年あけましておめでとうございます。令和４年の新春を共に寿ぎたいと思います。

昨年の1月から2月にかけて県内は災害級の大雪に見舞われました。昼夜を問わず降り続く雪に除雪が間に合わず、幹線道路の通行止め、渋滞、車のスタック、さらには集落の孤立が発生しました。新川むつみ園におきましても利用者の皆さんやスタッフの足の確保が難しい中で、支援や活動が大変だったと聞いております。

また、令和2年から続いております、新型コロナウイルス感染症が8月に第5波のピークを迎えましたが、新川むつみ園内では、幸いにも感染者は出ませんでした。利用者、保護者、スタッフの皆さんには、緊張感をもって日常生活や支援に取り組んでいただき、大変なご苦労、ご不便をおかけしたと思っております。

10月には、新川むつみ園創立40周年記念式典を盛大に挙行することが出来ました。知事代理（富山県理事）、入善町長、入善町議会議長、黒部市長、2市2町の県議、県内福祉施設の代表者等、たくさんの皆様にご臨席賜りました。この式典を通して、地域やボランティアの皆様、関係各所のご支援ご協力のもと、熱意だけはどこにも負けないスタッフと利用者が一丸となり、ゼロから一つ一つ積み上げて「新川むつみ園」を作り上げてきたと、強く認識しました。

本年は、新型コロナウイルス感染症が一日も早く収束して、リスクのない生活が戻り、利用者の皆さんの笑顔が溢れる中で家族や地域の皆様と交流し、秋には、むつみ園祭が盛大に開催できるものと信じております。

結びになりますが、本年が皆様にとって良い年でありますことをご祈念申し上げますと共に、きめ細かな支援に努め、保護者や関係各所の皆様のご期待に応えてまいりますので、引き続き変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げまして、新年のご挨拶とさせて頂きます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

ていこう 40周年を迎えました

令和3年10月24日

記念式典

10月24日、富山県知事（代理富山県理事）、入善町長、黒部市長他多くのご来賓に出席いただき、新川むつみ園創立40周年式典が開催されました。

新川むつみ園は、昭和56年4月に50名の入所定員として事業開始しました。現在、入所定員80名、通所事業所は2か所で定員70名、グループホームは5か所で定員32名となり、他に相談部門として障害者就業・生活支援センター及び相談支援事業を運営しており、正職員及び准職員合わせて120名という大所帯となりました。

今後とも、新川地域の障害者福祉の中核施設である新川むつみ園に求められているセーフティネットとしての役割や機能について応えることができるよう、鋭意努力していく所存です。

40周年記念誌

記念品は利用者の手作りによるもの

利用者代表挨拶

入所支援課　2課　仙名 一二三

私は小さい頃から体が弱くて、学校も休みがちでした。うちで手伝いをしながら過ごしました。少し大きくなってからは病院に入院をしていました。

昭和56年、新川むつみ園での生活が始まりました。なかなかなじめなくて泣いたこともたくさんありました。毎日、簡単な作業をしながら、春は花見、夏は盆踊り、秋は生活展、冬は雪のカーニバルといろいろな行事を楽しんできました。ここ最近は、ぬりえや折り紙、寒い季節には編み物をしています。廊下に飾ってみんなに観てもらいます。

むつみ園の生活は、楽しいこともあるし、嬉しい事もたくさんあります。反対に悲しいこともあるし、ひどいなぁと思うこともあります。でも、いつも周りにたくさんの人がいて、ごちゃごちゃですがやっぱりいいところです。

これからもこの新川むつみ園で、みんな仲良く、笑っていきます。

むつみ園、40歳、おめでとう。

家族会挨拶

新川むつみ園家族会
副会長　倉又　敏

新川むつみ園創立40周年おめでとうございます。

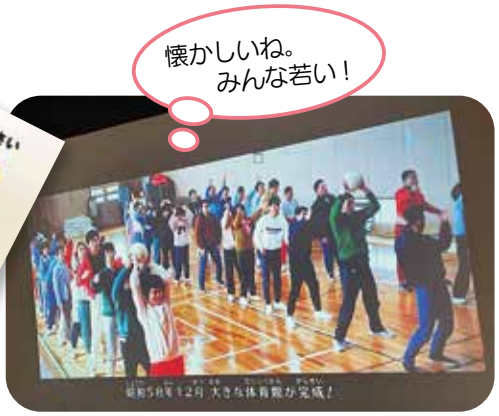
記念式典には家族会役員として参加致しました。新川むつみ園が昭和56年に誕生した時から障害者福祉の拠点施設として歩まれた道のりを再確認しました。近年には重度、高齢者に対応した居住棟新設と4人部屋解消の既存棟改修が行われ、一人ひとりが快適に生活できる環境が整いましたことは、新川2市2町のご理解ご尽力、歴代の理事長様以下、理事、園長、職員の皆様が地域に開かれた施設として努力され、また、地域の皆様からの温かいご理解とご支援等があってこそだと思っております。

新川むつみ園で生活、活動する子供や家族がイキイキと笑顔で毎日が過ごせるよう、家族会一同、初代会長から引き継いだ『自分たちが動いてこそ関係各位に協力をお願いできる』この考えに迷いなく、今後とも活動していく思いです。

ともに歩い 新川むつみ園は 創立

新川むつみ園祭

創立40周年記念式典に合わせ、恒例の新川むつみ園祭が開催されました。楽しい1日となりました。



スライドショー

暖かい日差しの中、第37回新川むつみ園祭が行われました。コロナ禍ということもあり、例年とは異なり、入所利用者とそのご家族の方のみの参加とさせていただきました。

パラリンピックを賑わせた車椅子バスケ・ボッチャの体験、ハロウィンの仮装でのフォトブース等それぞれのコーナーにて、楽しそうな表情、素敵な笑顔が見られました。また、新川むつみ園のこれまでの歴史や行事を振り返る映像を披露しました。「みんな若い！」「懐かしいねぇ」との声が聞かれ、昔を思い出しながら楽しい語らいができたのではないでしょうか。

来年は、地域の皆さんも一緒の盛大な新川むつみ園祭ができることを祈っております。

（中西主任支援員　記）

車椅子バスケットボール

ボッチャ

フォトブース

塗り絵

こんなむつみ園祭もよかったよ

入所支援課　2課　米川 たち子

今年のむつみ園祭はちょっとさみしいむつみ園祭。センターの友達や、保育所や小学校の子たちも、ボランティアのおばちゃん達もいなくてなんだかもの足りない。

でも、職員がたくさん考えてくれて、お昼ご飯は、豚汁やサンドイッチなどいつも園祭で食べているメニューだったし、私が一番楽しみな焼き芋もみんなにあたったよ。仮装して写真を撮ったり、オリンピックみたいな競技をしたり、それぞれが好きなカラオケやぬり絵を楽しんで、皆がたくさん笑った一日になったよ。

カラオケ

～健康で働くために～
とやま健康企業宣言を宣言しました

『健康で働くって大事なこと』を私自身がより強く感じた時期がありました。特にこの2年間は新型コロナウイルスにおける感染対策として福祉の現場で働く職員一人ひとりが自らの行動を制限し、その中でも利用者さんが楽しめる工夫を考えていた時期でもありました。普段の生活以上に職員は気を張っていたことと思います。

職員に働く場の環境づくりはとても大切だと感じていた時、協会けんぽ富山支部から「とやま健康企業宣言をしてみませんか？」とお話を受け、園でも取り組んでいくこととしました。まずは宣言することから。そしてチャレンジして認定を受けていくのが健康企業宣言の取り組みです。

職員が健康で笑顔で働けることで、その笑顔が利用者さんの笑顔にも繋がると思います。令和4年は多くの企業が実施している事例を学び、取り入れ、より働きやすい環境を作っていけたらと思います。

（田中主任事務員　記）

宣言証 Step 1

社会福祉法人新川むつみ園　様

貴事業所は健康経営に取り組むために
健康企業宣言 Step1 を宣言したことを証明します。

健康企業宣言

2021年8月30日 交付
健康企業宣言富山推進協議会
（全国健康保険協会富山支部）

ボランティアコーディネータ研修に参加して

「ボランティアコーディネーター」という言葉自体初めてで、どういうものなのか分からず、加えて、ZOOMを使ってのオンライン研修だったため、最初は戸惑いがありました。しかし、講義だけではなく他の施設の方とのグループワークもあり、事例に基づいていろいろな意見を話し合い、ボランティア活動の強み・弱みを知ることができました。

普段の仕事では、目にはしているけど自分が主となって動くことがまだないので、今後この研修を活かし、新川むつみ園とボランティアの関わりを更に学んでいきたいと思いました。

（山田生活支援員　記）

コロナ対策をしながら
ひだまりサロン開催中!!

ひだまりサロンは、地域で働いている障害者の方の余暇支援として、毎月第4日曜日に、社会のルールを学んだり、レクリエーションを行う場として開催しています。

前回は、講師をお迎えして「クリスマスリース作り」を行いました。色とりどりの毛糸でリボンを作ったり、どんぐりを装飾したり、皆さんそれぞれの個性が光った、世界で一つだけのすてきなリースが出来上がりました。

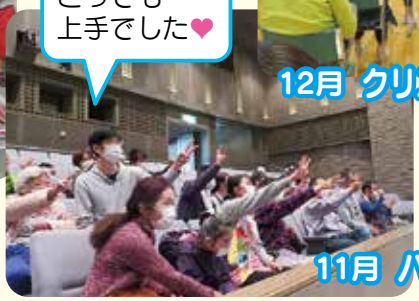
利用者さんと一緒に私たちも楽しんだり、学んだりできるホッと一息つける温かい場、それがひだまりサロンです。

（水島就労支援ワーカー　記）

坊丸の郷だより

10月 サツマイモ掘り

12月 クリスマスコンサート



11月 ハートフルコンサート

地域生活支援センター 瓦（かわらばん）版

新しい場所でも頑張って！

長年過ごしてきた仲間の数名が支援制度の生活介護から各自に合ったサービス事業所に移行されました。むつみ園の施設入所支援に移行した人達はすぐ会うことができますが、県内の離れた施設に入所された方も。寂しい気持ちはありますが、新しい場所でも皆さんの素敵な個性が活かされることを期待しています。

12月 関西電力労働組合のバザーに出品

関西電力黒部川水力センターのご厚意により、今年度も福祉バザーに参加させていただきました。障害を持った方の社会参加に会社を挙げて取り組んでおられます。ありがとうございます。

入所支援課 むつみあい トピックス

長年続いています!! ～入善高校との交流～

今年も、利用者が楽しみにしている入善高校との2つの交流会がありました。吹奏楽部の皆さんは園が出来た翌年の昭和57年から毎年コンサートを開催して頂き、また農業科の皆さんとは平成13年から学校とむつみ園を行き来し交流を深めています。

中谷　稔さん（就B）　朝日町美術展町展賞・越中アートフェスタ入賞

栄えある受賞　おめでとうございます

令和3年11月に開催された第42回朝日町美術展において、GHの入居者で地域生活支援センター利用者の中谷稔さんが町展賞を受賞し、賞状などをいただきました。

また、令和3年度越中アートフェスタでも入賞され、今後のますますの活躍が期待されます。

朝日町美術展　町展賞
「花を抱く」

40周年記念誌の表紙に本人の絵画を提供いただいたお礼に、家族会よりプレゼント（水彩ペン100色セット）をいただきました。

おめでとうございます
全国健康保険協会富山支部長表彰

企画総務課　主任事務員　田中美春さん

一緒に働きませんか？
職員募集中

・看護師
・生活支援員

詳細は ☎78ー1131（室）まで

皆さんのまごころ受け取りました ～赤い羽根共同募金～

皆様からの善意は、さくら食堂のテレビと、ブルーレイレコーダーの購入に充てさせていただきました。
これで大相撲をゆっくり見られます。

季節のあゆみ

行事予定

1月　左義長・新年会

2月　大漁鍋

　　バレンタインデー

　　福祉講演会（2月17日）

3月　ホワイトデー

※新型コロナウイルス感染状況に応じて延期、規模縮小、または中止の場合もあります。

ご寄付ありがとうございました　まごころの花束

・能島　隆　・簇智　清二
・常盤　紘子　・佐々木憲綱
・草原　庄一　・河村シマ子
・脇坂　晴夫　・下飯野紀一郎
・島﨑　信行　・仲俣　芳昭
・堀部　和子　・村椿　光子
・浦山新地区区長　中易　厚司
・入善町民生委員協議会　中易佐喜子
・障害者支援施設　野積園
・社会福祉法人たかおか新生会　新生苑
・たかおか万葉福祉会　かたかご苑
・社会福祉法人　舟見寿楽苑
・社会福祉法人　おあしす新川
・社会福祉法人新川会　四ツ葉園
・社会福祉法人射水福祉会　いみず苑
・社会福祉法人　セーナ苑
・社会福祉法人　渓明苑
・社会福祉法人　にいかわ苑
・社会福祉法人野の草会　こもれびの里
・富山県善意銀行
・考房SMILE
・浦山新ビーチボール
・特定非営利活動法人　工房あおの丘

（順不同・敬称略）

ご協力ありがとうございました　ボランティア活動

・吉沢和佳子
・喫茶ボランティア　金山　道子　泉　友子
・入善町婦人ボランティア連絡協議会
・関西電力株式会社　黒部川水力センター
・入善理容組合

（順不同・敬称略）

編集室から

昨年11月、富山市に私の趣味であるプロレス観戦に行きました。椅子一つ分空けた客席にはお客さんもいつもの半分、観戦中は声も上げられません。1、2、3のカウントも決め台詞の唱和もできない、マスクに拍手のみの観戦は熱狂不足で寂しさも感じました。

大きな声を出し、共に勝利を感じられる日を願って。本年もよろしくお願いします。ダーッ！。（新保　記）